

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立静岡視覚特別支援学校 P T A	
学 校	対 象	<input checked="" type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	12名

1. 使用状況

寄贈物品名	立体コピー機
使用学年及び人数	幼稚部3名、小学部5名、中学部1名、高等部3名
使用頻度	必要に応じて適宜
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全盲の児童に、触って確認できるように、立体コピーを使用し、文字や図等を浮き上がらせて触ることができるようにしている。
物品の使用による 変化や効果 ※1年目との違いを 含めご記入ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・全盲の児童に、書写の時間に書いた自分の字を確認できるよう、立体コピーを使用し、文字を浮き上がらせて触ることができるようにした。触ることで、自分の書いた字がどのように書けているかが分かり、「ここ短かったな。」「結構、曲がっているな。」など、振り返りながら、フィードバックすることができていた。
今後の活用の 見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・校内地図を立体にして触って確認し、頭の中の地図を作るために使用する。その他の場面でも、必要に応じて立体化し、確認したりイメージをつかみやすくしたりして学びを深めるために使用したい。
その他 希望や所感など	

2. 活用の様子



実際に、書写で書いた物を立体コピー機で浮き上がらせた物。黒い部分が浮き上がるので、「左右」の文字のみ浮き上がり、凹凸で自分の書いた字が触って確認できる。

実際に、触って確認している様子。両手を使いながら、文字をたどって、自分の書いた字を振り返っています。

